

しおばら

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

七百年の伝統 比和牛供養田植

広島県無形民俗文化財に指定されている「比和牛供養田植」が5月27日、比和町森脇で4年ぶりに開催されました。供養牛による代掻きや迫力ある大太鼓打ち、拍子に合わせた作業田植などが行われ、4年に1度の伝統行事を一目見ようと集まった多くの人でにぎわいました。(関連記事 19 ページ)

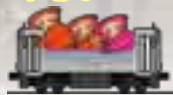
- 2 特集 地域を愛と奉仕で支える「民生委員・児童委員」
- 6 東城小学校校舎棟改築工事・東城学校給食共同調理場新築工事基本設計完了
- 8 平成23年度予算の執行状況
- 9 公文書の公開と個人情報の運用状況
- 10 家族で災害に備えよう
- 12 安心安全な毎日のために

- 13 子ども手当は児童手当にかわりました
- 14 シリーズ「庄原市まちづくり基本条例」／シリーズ「私にもできる獣害対策」
- 15 健康広場「お口は健康の入り口！」
- 16 市政トピックス
- 18 カメラレポート
- 21 お知らせ



備後庄原駅から高方面へ(平成 21 年 9 月 1 日)

乗りんさい 芸備線



Vol.2

備後庄原↑高

芸備線の上り列車は、備後庄原駅を出発すると、エンジンをうならせて加速していきます。力強いエンジン音があたりに響きます。
車窓には、家路を急ぐ人たちの姿が。「みんな、どんな一日を過ごしたんだろう——」などと、ふと思ってみたりする、夕映えのひとときです。

芸備線に乗ると思うことは、車窓から見える光景がやさしく感じられるということ。
それはたとえば、列車が家々のすぐ横を通るときに洗濯物が見えたり、庭で植木の手入れする人が見えたりするとき。踏切待ちをする人たちを見るとき。列車の行き違いで数分止まった駅で桜が満開だったとき。田んぼが水鏡のような田植え前の光景。どれも日常的な光景ですが、この光景からは人々が一生懸命に日々過ごしていることが垣間見えます。「なんか、いいな」と思わせてくれる、こんなシーンを広島行きの列車が車窓に映してくれました。

内海光太郎(東本町)

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集します。写真と説明文(100文字程度)乗車体験記(200文字程度)を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！

比和の特産市場

登録
第8号店

所 比和町木屋原700
☎ 0824-85-2882
営 毎週土・日曜日7:00～12:00
休 4月～12月末まで営業



取り扱う市内産食材
野菜・山菜・加工品(かしわもち・弁当・漬物など)



おいしいものは
庄原市地産地消推進店
地元にある!!

★会長の松長 等さんに聞きました★

●なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？

地元産の野菜・山菜・加工品だけを出荷、販売しており、地域から品質の良さやおいしさを強く発信していきたいと思ったからです。これにより特産市場の発展と地域の活性化につながればと思います。

●お店のこだわりは？

春は山菜、秋はきのこ季節を感じられるものを多く出荷するようにしています。旬の野菜の出荷にも特に力を入れています。

●皆さんへひと言

お客さまには明るく楽しく、そして思いやりの気持ちを大切に接しています。安全でおいしい野菜や加工品をたくさん販売し、皆さまに喜んでいただける特産市場にしていきたいと思っています。
皆さまぜひお立ち寄りください。



地元産新鮮野菜が並ぶ

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。